

他社・従来の方式との違い

従来の駆除方法は...

床面や壁面といった目に見える箇所に均一に薬剤を散布・充填する方式。効果は一時的で、年に何度も薬剤散布をしなければならない。

●ポンプ式散布機での薬剤散布

- ・散布した場所を歩いたゴキブリしか殺虫できない。
- ・日々の清掃で薬剤が流れてしまう
- ・薬剤によってはにおいが気になる



●噴霧機で空間定な薬剤散布

- ・作業前に食器や機器類の養生、作業後には洗浄が必要
- ・表面的な部分にしか効果がない
- ・薬剤の効果はその時限り



●食毒材のみでの薬剤処理

- ・ゴミ類が堆積している施設や、ゴキブリが好むエサが近くにある場合、食毒材を食べずに効果が発揮されない。



弊社のサーチ・ローチコントロールシステムは...

ゴキブリの生息個所を見つけ出し、直接薬剤散布を実施する、**局所重点処理**をすることにより、**年1回**の薬剤散布でゴキブリが生息できない環境を作り出します。

年1回の駆除施工と、年2回の定期点検・調査を行い、年間管理にて、安心・安全で、ゴキブリのいなくなる環境をご提供します。



①生息場所や生息可能息を熟知し、ピンポイントで薬剤処理をするため、**効果の実感が得られます。**

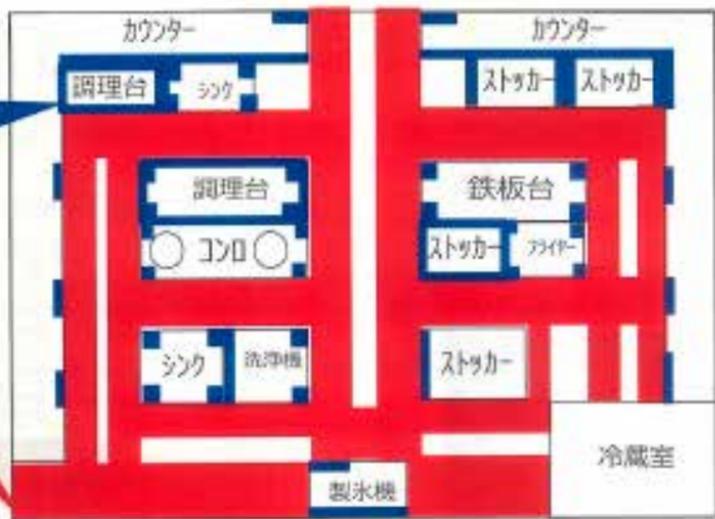
②薬剤の効果が最大限発揮される、薬剤処理箇所と薬剤選択によって、**残効性(予防効果)と少薬剤**を実現します。

➡ **ゴキブリが住みつけない施設環境の創造**

③ゴキブリの主な生息源=目につかない・触らない箇所なので、**養生・前日の準備などは一切不要です。**

局所重点処理
(弊社手法)

残留噴霧処理
(50ml/m²)
(慣行散布)



年1回の駆除施工でゴキブリが生息できない環境に！

●今までのゴキブリ管理と効果の違い

